

令和6年度 南城市慢性腎臓病重症化予防プロジェクト

南城市では、腎臓専門医、かかりつけ医、市の保健師・栄養士の3者が連携をとりながら適切な治療・食事療法で腎機能を安定させ、新規人工透析導入者の減少を図るための取り組みを平成28年度から実施しています。

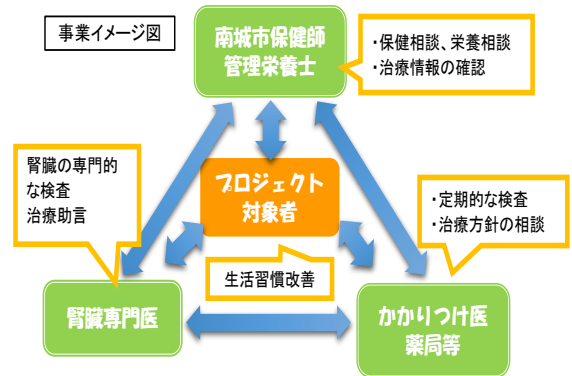


プロジェクト事業の対象

南城市民で特定健診・人間ドック受診者のうち

- ①尿蛋白(2+)以上
- ②eGFR50ml/分/1.73m²未満(70歳以上では40未満)
- ③尿蛋白・尿潜血がともに(1+)以上

上記①～③のいずれかに該当し、
本人の参加希望が得られた方を対象としています。



プロジェクト事業の実施、実績

上記対象者へ市の保健師・管理栄養士が保健指導を実施し、かかりつけ医へ腎機能の経年変化グラフや家庭血圧記録、生活状況等の情報提供を行います。

対象者本人の希望をもとにプロジェクトチーム(腎臓専門医・琉球大学古波蔵健太郎医師、市保健師・管理栄養士)による事例検討会を実施し、必要時主治医宛に腎臓専門医による重症化予防治療計画案を送付しています。その後も継続的に保健指導を実施し、腎機能の変化を対象者と一緒に確認しています。

事例検討会の実績(延べ件数)

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
40件	77件	37件	80件	84件	56件	74件	45件	493件

R5年度までに下記30医療機関へ重症化予防治療計画案を送付

* 多くの医療機関のご協力ありがとうございます

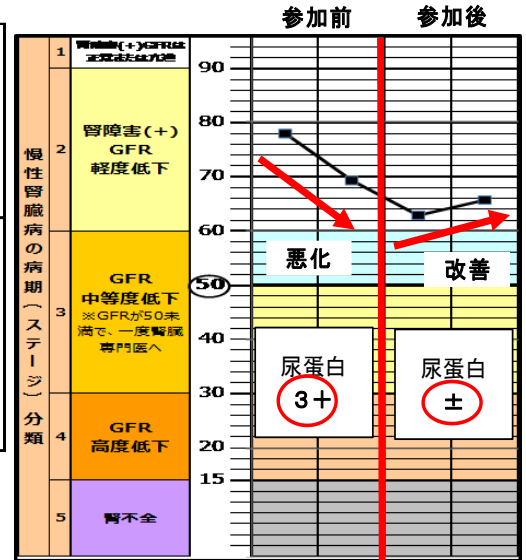
南城市内：みなみ野クリニック、沖縄メディカル病院、あかし内科クリニック、久高診療所、平田内科医院(閉院)
 南部地区：吉クリニック、与那原中央病院、豊見城中央病院(友愛医療センター)、かてな内科医院、南部徳洲会病院、沖縄協同病院、協同にじクリニック、首里協同クリニック、なかだ内科、沖縄第一病院、うえばるクリニック、うえず内科クリニック、ながみね内科、中村内科胃腸科、中村内科クリニック、首里城下町クリニック、新健幸クリニック、那覇民主診療所、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
 中部地区：しんざと内科、ハートライフクリニック、翔南病院、ひが内科、琉球大学
 県外：1カ所



プロジェクト参加者の変化

プロジェクト参加後、腎機能と尿蛋白が改善したAさん

参加前	<ul style="list-style-type: none"> 尿蛋白は昔から出ている、良くならないよ 薬が増えたとすごく悪くなったような気分 薬が変わると副作用が心配 血圧は病院で測っているからそれでいい 食事のことは言われたくない
参加後	<ul style="list-style-type: none"> 昔から出ているのに、尿蛋白が良くなることもあるんだな 結果が良くなって、良くなるための薬なら飲んだ方がいい！ 腎臓を守るために痩せたい 体重が減ったら蛋白が良くなった、体重を維持したい 家庭血圧測定の実施、降圧目標との比較を自分で確認「先生に見せた方がいいね」



医師、コメディカル、行政保健師・栄養士等の学習会

プロジェクトの一環で年に一度近隣の医療機関を対象とした学習会を開催しています。プロジェクトチームリーダーの琉球大学病院 古波蔵健太郎先生による講演や、透析導入事例を通してかかりつけ医・コメディカル・腎専門医・市町村の役割について、予防の視点で意見交換を行うなど、数多くの貴重なご意見をいただいております。

今年度はR7.2.18(火)にうえず内科クリニック院長上江洲良尚先生を講師にお招きして事例学習会を開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。



R6.2月
慢性腎臓病重症化予防に関する研修

参加者 40名

医師	9名
看護師	5名
保健師	22名
管理栄養士	3名
事務職	1名

参加医療機関 6カ所
吉クリニック、うえず内科クリニック、
沖縄第一病院、沖縄メディカル病院、
あかし内科クリニック、中村内科クリニック



R1.10月
CKDと糖尿病重症化予防学習会

*R2～R4はWeb講演会を実施

問い合わせ先: 南城市役所健康増進課
慢性腎臓病重症化予防プロジェクト事務局
(Tel 917-5324)